

	反応点	提唱者	内容	分類
経絡	循経感伝現象 【経絡現象】	長濱善夫 丸山昌朗	経穴への刺激【得気】により、経脈（経絡）の流注に沿って痛み、しびれ、腫張、熱感といった感覚や、発赤、丘疹、あざ、色素沈着、などの反応が現れる。	体性-体性反応
経穴	ヘッド帯	ヘンリー・ヘッド	内臓疾患に伴い現れる皮膚知覚過敏帯。【内臓知覚連関】 皮膚分節(デルマトーム)と相互に関連。	内臓-体性(知覚)反射
	マッケンジー帯	マッケンジー	内臓病変が、神経的関連がある筋肉に、コリやシコリとして現れる。	内臓-体性(知覚)反射
	圧診点	小野寺直助	内臓疾患に関連する皮下組織や筋などの深部に現れる圧痛点。 例：胃潰瘍の殿部圧診点。【類似研究：ボアス圧痛点の場合→第10～12胸椎左外側3cm】	内臓-体性(知覚)反射
	撮診点	成田夫助	皮膚をつまむことで現れる知覚異常感覚点。(知覚過敏) 内臓病変と関連のある脊髄分節的な体表部に出現し疾病を推測。	内臓-体性(知覚)反射
	良導点	中谷義雄	内臓病変による交感神経興奮（立毛筋収縮、皮脂腺分泌）にて皮膚上の電気抵抗が低下する部位。十二経脈に相当する良導絡上の経穴部位と一致。	内臓-体性(自律系)反射
	皮電点	石川太刀雄	内臓病変反射により、皮膚分節(支配域)の小動脈血行不全により電気抵抗が低下する部位。	内臓-体性(自律系)反射
	圧発汗反射	高木健太郎	身体を圧迫すると反対側に半側発汗が現れる反射。 圧迫側の交感神経が抑制されているために起こる。	内臓-体性(自律系)反射
	エアポケット現象	松永藤雄	脊椎側圧診点の陽性部付近で皮膚温の低下が見られる現象。	内臓-体性(自律系)反射
	丘疹点	藤田六朗	内臓病変によって経穴と多く一致する皮膚上に丘疹や色素沈着が現れる反応点。	内臓-体性(栄養)反射
	平田十二反応帯	平田内蔵吉	体幹部を十二節に分ける。内臓異常の反応が対応した分節に現れる。 四肢,顔面,頭部と相関的に反応し合うとして診断・治療点として用いられる。	内臓病変・体壁反応
トリガーポイント	ジャネット・G・トラヴェル	圧痛や硬結、単収縮反応、関連痛などを特徴とし、経穴とよく一致する部位。 ポリモーダル受容器の反応性の高まりが起因と考えられている	体性-体性反応	